

大宮ヴィジョンシティみはしの杜

「環境=健康」をテーマとした多彩なエコアイデアの街づくりと家づくり



プロジェクト概要

さいたま市大宮区に位置し、藤倉ゴム工業株式会社の大宮工場跡を開発する、市内最大級の戸建分譲住宅地。

南西側に三橋総合公園や鶴川、北側にある大宮三橋団地、東側に既存住宅地、南側に農地のある立地環境の開発地で、環境配慮型の街と住まい、住まい方提案を行なう省CO₂先導事業である。

所在地：埼玉県さいたま市大宮区三橋1丁目833-3(地番)他
交 通：JR大宮駅よりバス利用10分 県営三橋団地バス停より徒歩3分
開発総面積：25,300 m² / 敷地面積：全部150 m²以上 / 総戸数：125戸

企画・開発の背景と発端

1. 工場跡地という立地のマイナスイメージを覆すため、安全性や景観美だけでなく、一般の分譲住宅を超えるレベルの「環境性能を備えた街」をテーマとした。

2. 埼玉県、特に本プロジェクトの位置する南東部はヒートアイランド現象が顕在化し、「埼玉県ヒートアイランド対策ガイドライン」が策定され、クールアイランドを活かす等の対策が求められていた。そのため街全体で熱中症対策を講じるデザインを検討した。また、夏季だけでなく、冬季のヒートショック予防という観点をデザインに取り入れ、永住を叶える街を目指した。

企画・開発の意義

目指したのは、環境意識の高い住まい手を集めることではなく、あくまで「誰が住んでもエコになる街」であり、「住むこと自体がエコになる街」である。住まい手自身が環境を意識しなくとも得られる省CO₂効果や、夏季の熱中症や冬季のヒートショックのリスクを低減するように、街や家の環境性能が住まいの健康維持につながる効果を、過剰な設備に頼らざるにインシャルコストを抑えうえで得られるように設計した。

企画・開発のポイント

- ・コンセプト
…環境というテーマを「健康」という具体的な目標に結び付け、ユーザーと意識の共有を図った。

・街づくり

- 1…低炭素建築物認定基準の標準化や、高効率設備の組み合わせによる省CO₂効果。
- 2…多様な環境要素を持つユーザーに選択肢を提供する、環境と立地特性による街区設計。
- 3…フード & グリーンにより、庭の有効活用をエコ活動・循環型ライフサイクルとして提案。
- 4…エネルギーの可視化にとどまらず、ライフサポートを重視したオリジナルHEMSの開発。

- ・健康を育む工夫
Vision to Health ②断熱 ③暖房
全室をアルミ複層合板サッシLow-eガラスを使用し、断熱性を高めた家。また温水床暖房や洗面室暖房など、通所暖房によりヒートショックのリスク低減を図った。

- ・その他
…街と家の両面で、また設計工夫と設備選定を組み合わせる等、幅広くエコアイデアを集約。

実績

- 1. 国土交通省「平成25年度第1回 住宅・建築物省CO₂先導事業」採択。
- 2. CO₂排出削減率 34.8% ※CASBEE一般住宅との比較。
- 3. 創エネ3.5kwに抑制したローコストZEHの構築。

多様化する住まい手へ向けた選択型住空間設計 — スタイルプラン

多様な家族構成やライフスタイルに対応

部屋数や大きさ、また「LDK」という従来の概念にとらわれずして家を選ぶ。それは、自ららしい暮らしか方を基準とした、言わばライフスタイルや趣味、インテリアに至るまでの、「スタイル」を重視したプランニング。健康・自在性・クラフト感などの多彩なテーマをデザインすることで、様々な世代や家族構成に対応。多世代コミュニティの実現を図るシステムとしてこの5つの「スタイルプラン」を設計した。



住まい手に幅広く選択肢を提供

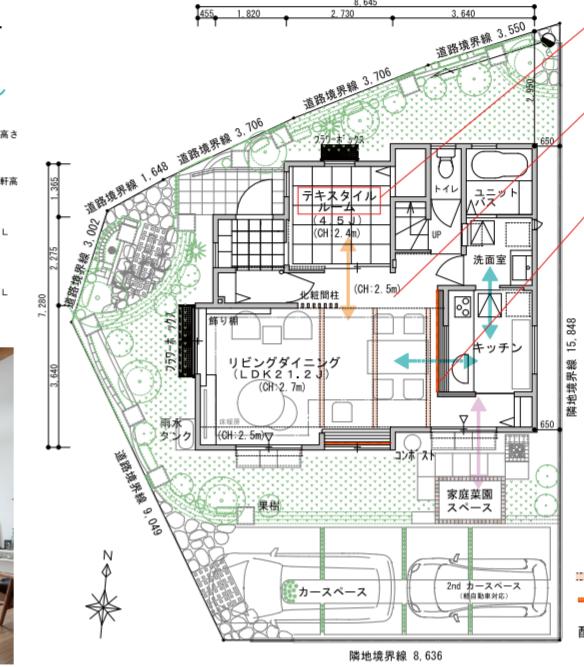
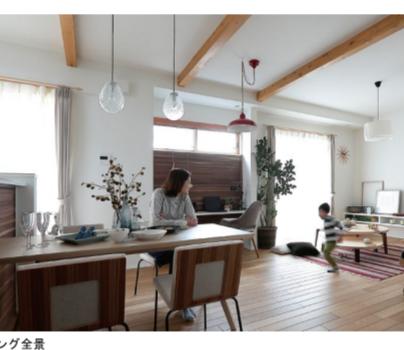
「大宮ヴィジョンシティ」の125部は、ソーラーの特性・住まいの性能に応じて「公園の街」・「杜の街区」「木立ち街区」「次世代街区」「ZEH街区」の5街区にわけられる。似た形状や広さの用地が集まる各街区に様々なスタイルプランをバランス良くランダムに、どの街区でも自分に合った好みのスタイルが見つかるよう、各テーマの家を配置した。



スタイルプラン: 02 森の家

木のコントラストが創りだす
素材志向の住まい。

設定対象：世帯…子育て・DINKS・リタイアメント・趣向…素材・モダン



●プロの耐久性と機能性を追求したオリジナル壁材
プロの耐久性と機能性を追求したオリジナル壁材を採用。木の良さをそのままに、木の温もりを引き出す。プロの耐久性と機能性を追求したオリジナル壁材を採用。木の良さをそのままに、木の温もりを引き出す。

●木の良さを引き出す
木の良さを引き出す。木の温もりを引き出す。

街の環境設計 — パッシブランドデザイン

クールアイランドを利用し、夏の気温を2℃涼しく、冷房負荷低減と同時に、熱中症対策も。



家の環境設計 — 4つの工夫

低炭素建築物認定基準の高断熱化と、適所暖房によるヒートショック予防。健康を省エネにつなげる性能。

健康を育む工夫

Vision to Health ②断熱 ③暖房

全室をアルミ複層合板サッシLow-eガラスを使用し、断熱性を高めた家。また温水床暖房や洗面室暖房など、通所暖房によりヒートショックのリスク低減を図った。

パッシブ設計の工夫

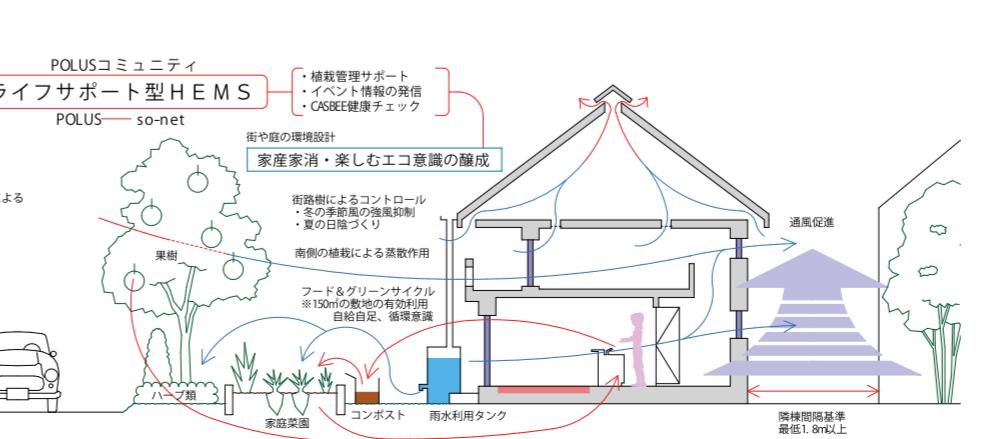
Vision to Passive ④換気 ⑤採風

電気を使わずに自然里の換気量を調整するオリジナル換気システムを採用。また窓の大きさのルール化やHEMSの採風アートで、涼風を効率的に採り入れる。



庭の環境設計 — フード&グリーン

庭の有効利用で「家産家消」を楽しむ循環ライフの提案。
オリジナルHEMSで自宅のエコ活動をサポート。



未来の環境設計 — ZEH開発

創エネ3.5kwに抑えたローコストのネットゼロエネルギーhaus。この街の未来図として先進街区で開発導入。

